

尿一般検査

《尿定性》

尿中に出ている成分を調べる検査です。

検査項目は、尿 pH、尿蛋白、尿糖、尿ウロビリノーゲン、尿ビリルビン、尿ケトン体、尿潜血、尿比重、尿色調、亜硝酸塩、尿中白血球、混濁、について調べます。

★尿 pH

尿がアルカリ性か酸性かを調べる検査です。通常、尿 pH は弱酸性ですが、食事や運動によって変動します。

尿路結石症の治療や予防のコントロールとしても有用です。

★尿蛋白

健康な人でも微量に見られますが腎や尿路などに異常があると多量に出現します。

★尿糖

尿中出现する糖のことをいいます。通常は尿中に糖が出現することはありません。

尿糖が陽性となる代表的な病気は糖尿病があります。

糖尿病のスクリーニング検査として実施されます。

★尿ビリルビン、尿ウロビリノーゲン

肝障害や胆道障害で増加します。

★尿ケトン体

糖尿病、飢餓、脱水などで出現します。

糖尿病治療を行っている場合は、治療効果が上がっているかの判断基準の一つとして利用されています。

★尿潜血

尿中に赤血球が出ているか調べる検査です。通常、尿中に赤血球は含まれませんが、血液が混入すると陽性になりあす。

腎臓や尿管、膀胱に異常があると尿中に赤血球が混入するため陽性になります。ビタミン剤やビタミンC（アスコルビン酸）が入っているドリンク剤を摂ったあとは、出血があっても偽陰性となるので注意が必要です。

★尿比重

尿中の水と水以外の割合を示したものをいいます。

腎臓の希釈・濃縮力の状態を反映しています。

★尿色調

健常な尿の色は淡黄色か麦わら色をしています。

尿に血液が混じると赤～黒褐色になったり、糖尿病の患者さんでは色が薄く、ほとんど無色になります。

★亜硝酸塩

尿中に細菌がいると陽性になります。
尿路感染症のスクリーニング検査として有用です。

★尿中白血球

尿中に白血球が出ているか調べる検査です。
腎・尿路の炎症、感染症で白血球が尿中に出てきます。

★尿混濁

健常な尿は濁りがありません。
排尿直後から濁りのある尿には細菌が混じっています。腎炎や膀胱炎など、細菌に感染しているときに見られます。

《尿沈渣》

尿中の成分を顕微鏡で観察します。どんな成分がみられるか、またその成分の数の増加を調べて、腎臓などの異常の診断や病状の経過観察を行います。

- ★赤血球：腎・尿路系の出血性疾患で増加します。
- ★白血球：腎・尿路系の炎症性疾患で増加します。
- ★細菌：膀胱炎などの尿路感染症で増加します。
- ★円柱：尿の通り道が閉塞し、詰まったものが円柱状になり尿中に排泄されたものです。円柱には種類があり、円柱の中に含まれている成分で分類します。円柱の種類、出現数によって腎の病態や障害の程度を把握することができます。その他、疾患によって様々な成分が出現します。

尿は血液から作られるものです。その血液は体の中を駆け巡っていて、どこかに異常が生じると血液の成分が何らかの反応を示すので、尿の成分にも影響がでます。

また、尿は環境や体調の影響を受けやすい、とてもデリケートなものです。尿を検査するだけでも体がきちんと機能しているか、つまり、健康が保たれているかどうか分かるのです。

尿中肺炎球菌莢膜抗原

肺炎球菌に感染しているか調べる検査です。
肺炎球菌は肺炎の起因菌です。

尿中レジオネラ抗原

レジオネラに感染しているか調べる検査です。

レジオネラは肺炎の起因菌です。

妊娠反応

妊娠しているか調べる検査です。

ノロウイルス抗原

ノロウイルスに感染していないか調べる検査です。
食中毒の原因菌です。嘔吐や下痢の症状を発症します。

ロタウイルス抗原

ロタウイルスに感染していないか調べる検査です。
ロタウイルスは胃腸炎を起こすウイルスです。乳幼児の代表的な冬の下痢症です。

便中ヘモグロビン定性

糞便中に血液が混ざると陽性になります。
消化管出血を疑うときに検査します。

虫卵(塗抹)

寄生虫に感染していないか調べる検査です。
便中にある虫卵を顕微鏡で調べます。

虫卵(セロテープ)

蟯虫に感染していないか調べる検査です。
肛門周辺にセロハンを貼り付け、そのセロハンに蟯虫の卵があるか顕微鏡で調べる検査です。

髄液一般

髄膜炎、脳炎などを疑うときに検査します。
くも膜下出血が考えられるときにも、髄液への血液の混入をみるために検査をします。

穿刺液(胸水・腹水)

胸水、腹水は健常者にも少量は存在しますが、疾患によって貯留します。原因を調べるために検査します。

浸透圧

血清浸透圧は体液の濃縮・希釈の状態を調べる検査です。
尿浸透圧は腎臓などに異常がないか調べる検査です。

尿素呼気試験

ピロリ菌に感染しているか調べる検査です。

ピロリ菌は、胃炎や胃潰瘍、胃がんを引き起こすといわれています。